

研究タイトル：

AI/IoT を基盤とした水産業支援システムの開発



氏名： 江崎 修央 / Nobuo Ezaki E-mail: ezaki@toba-cmt.ac.jp

職名： 教授 学位： 博士(工学)

所属学会・協会： 電子情報通信学会、情報処理学会

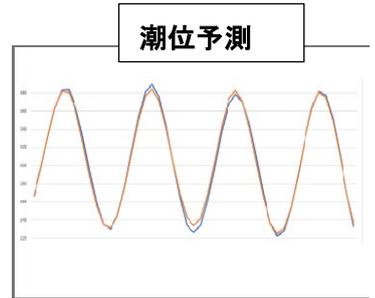
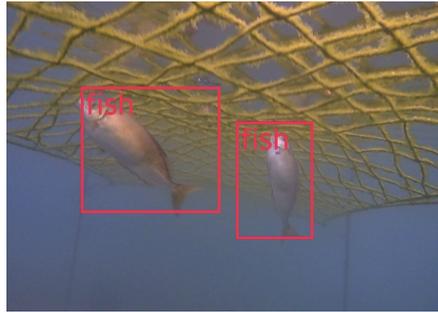
キーワード： AI、IoT、クラウド、ネットワークシステム、パタン認識、ヒューマンインタフェース

技術相談
提供可能技術：
IoT を用いたデータ収集、分析、操作システム開発に関するアドバイス
機械学習を用いた人工知能システム開発に関する相談
クラウド上でのシステム構築など

研究内容：

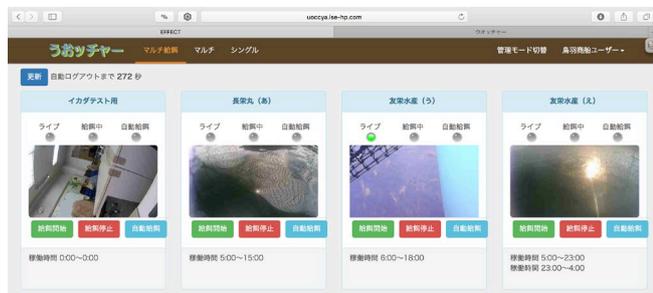
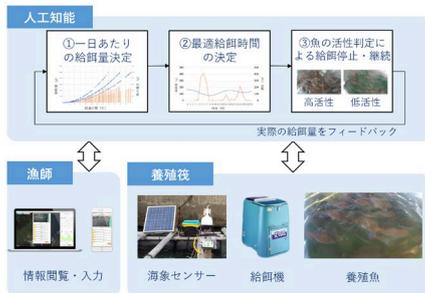
(1)IoT 海洋モニタリングシステム「うみログ」を活用した水産業支援システムの開発

地元企業と共同開発した「うみログ」から収集される海象データ、画像データを解析し、水産業の支援システムの開発に取り組む。例えば海苔養殖では、水位データを元に適切な干出時間を AI で割出し、生産者に指示したり、食害の原因となるカモやクロダイが検出されれば、音などを利用した追払いを実現する。



(2)海面養殖業向け人工知能による自動給餌システムの研究・開発

マダイやシマアジなどの海面養殖業における給餌について人工知能を用いた完全自動化を進める研究に取り組んでいる。養殖開始時に決めた出荷時期とサイズに合わせて最適な給餌量、時間を人工知能により割り出し給餌を行う。給餌超過による無駄な餌を削減するために、画像処理による活性判定を導入し、食いが悪い時は給餌を停止する。



提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)

名称・型番(メーカー)	